

地域再生計画(地方創生港整備推進交付金)中間評価調書

様式-1

| | | | | | |
|-------|---------------|--------|---------------|---------|---------------------|
| 都道府県名 | 富山県 | 事業実施主体 | 富山県・黒部市 | 地域再生計画名 | 下新川地区の快適で魅力ある港づくり計画 |
| 計画期間 | 平成28年度～平成33年度 | 事業期間 | 平成28年度～平成33年度 | 評価責任者 | 富山県土木部長、黒部市農林水産部長 |

| ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 | 指標 | 基準値 | | 中間目標 | | 最終目標値 | | 中間評価 | 達成状況に関する評価 | | |
|------------------------------|--|--------------------------|--|--|--|---|----------|----------|------------|---|---|
| | | 基準年度 | | 年度 | 中間実績 | 基準年度 | | | | | |
| ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 | 指標1 | 魚津港（海の駅蟹気楼）の利用者数・来訪者数の増加 | 272,000人 | H27 | 274,500人 | H29 | 253,466人 | 277,000人 | H33 | △ | 施設整備を進めているところであるが、H29年度は大雪に見舞われ、利用者数・来訪者数が減少している。 |
| | 指標2 | 石田漁港の利用者数の増加 | 6,335名 | H26 | 7,200名 | H29 | 8,621名 | 8,200名 | H33 | ○ | 施設整備により、石田漁港の利用者数の増加が図られており、中間実績ですでに最終目標値に達している。 |
| ②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況 | 指標1 | 魚津港の接岸船舶（漁船）数 | 12,265隻 | H27 | 12,280 | H29 | 12,389隻 | 12,400隻 | H33 | ○ | 港湾施設の整備による効果として、接岸隻数が増加しており、目標値を概ね達成できる見込である。 |
| | 指標2 | 漁港施設用地の船の実勢収容隻数 | 0隻 | H27 | 10隻 | H29 | 21隻 | 29隻 | H33 | ○ | 漁港施設の整備効果による効果として、船の実勢収容隻数は目標値を概ね達成できる見込みである。 |
| ③事業の進捗状況 | 事業名 | | 整備量（その他の事業では取組内容） | | | 事業の進捗状況に関する評価 | | | | | |
| | | | 計画 | 中間年度(H29) | 最終実績見込み | | | | | | |
| 特別措置を適用して行う事業 | 港湾施設整備事業（整備延長） | | 1,589m | 55m | 1,589m | 整備延長が伸びていない状況であるが、魚津港の利用者・来訪者の増加を図るため、港湾施設の整備を推進する必要がある | | | | | |
| | 漁港施設整備事業（整備量） | | 2,533m ² 1,220m ³ | 2,533m ² 0m ³ | 2,533m ² 1,220m ³ | 船舶保管施設、駐車場整備が予定通り完成し、残りの浚渫工事をH30年度内に完成させた。また、利用者の要望等により、計画より1年早く整備を完成させたことで、早期に整備効果が出ている。 | | | | | |
| その他の事業 | 第10回Sea級グルメ全国大会in魚津 | | 大会を開催することにより、地域活性化を図る | | | 平成29年に「みなとオアシス魚津」認定10周年を記念し、「第10回Sea級グルメ全国大会in魚津」が日本海側で初めて開催され、2日間で約38千人が来場。交流拡大により、地域活性化に繋がる。今年度限りのイベントであったが、さらなる賑わい創出に向けた取組が必要 ※「Sea級グルメ」とは、みなとオアシスが位置する地元の港で水揚げされた海産物を用いて作られた飲食物のこと | | | | | |
| | 石田納涼祭りマリンフェスタ | | イベント開催により、地域活性化を図る | | | 石田地域の活性化を図るため、「石田納涼祭りマリンフェスタ」を開催し、ヨット体験や打ち上げ花火、納涼祭に800人が来場した。事業は継続的に実施されており漁村地域の活性化が図られている。 | | | | | |
| | ヨットに乗ろう（無料体験航海） | | ヨットを通じて漁村地域の活性化を図る | | | 漁港周辺はつり棧橋や海水浴場、パークゴルフ場やキャンプ場など海浜レクリエーションの拠点となっており、29年度より施設に係留している船でヨット体験を開催した。30年度も実施しており石田地域の活性化を図っている。 | | | | | |
| 計画外で独自に実施した事業 | 観光案内説明員設置事業 | | 観光案内の紹介を行い、観光による活性化を図る | | | 魚津港の来訪者へ魚津港や蟹気楼等の説明を行うことにより、リピート客の増加や口コミによるさらなる来訪者増につながることから、今後も取組を進めていく。 | | | | | |
| | 魚津の朝市 | | 魚津の水産物、特産物を提供し、農水産業の活性化、地域振興を図る | | | 月2回行われる朝市では、魚津の特産物、地場産品を提供しており、魚津の地域振興を担っていることから、今後も取組を進めていく必要がある。 | | | | | |
| | 都市農村交流事業「名水の里くろべこども自然体験村」 | | 田舎の魅力を最大限に活用し、都市住民との交流拡大、地域活性化に取組む | | | 都内の小学生30名、黒部市内の小学生30名が農林漁業の体験を行い、交流を深めるものである。事業は好評であり、交流拡大による地域活性化に繋がっている。 | | | | | |
| ④評価方法 | 富山県と黒部市及び第三者からなる評議会により達成状況の評価、改善事項の検討等を行う予定 | | | | | | | | | | |
| ⑤中間評価の公表方法 | 富山県のホームページに掲載 | | | | | | | | | | |
| ⑥計画全体の総合評価 | 本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に実施しており、漁港整備では進捗が順調であり、石田漁港の利用者数増加については、すでに達成している状況である。一方、港湾整備については、進捗が順調とは言えず、魚津港（海の駅蟹気楼）の利用者数・来訪者数については減少傾向にあり、利用者数・来訪者数の大幅増とまでは至らない状況である。 | | | | | | | | | | |
| ⑦今後の方針等 | 本地域再生計画においては、漁港整備が円滑に進んでおり、石田漁港の利用者数増加については、目標が達成され整備も完了していることから、さらなる増加が見込まれる。一方で、港湾整備の進捗が進んでいないため、魚津港（海の駅蟹気楼）の利用者数、来訪者数の増加達成見込みが低い状況にある。今後は、事業期間がH31年度では、事業が達成できない見込みであることから、事業計画を変更し、事業費及び事業期間を延長し、港湾整備の進捗を進めていきたい。また、観光案内説明員設置事業、朝市、都市農村交流事業、そして新たなイベントを進めて、下新川地域の一層の地域再生につなげていきたいと考えている。 | | | | | | | | | | |